

活動事例

支援先

本場結城紬染色工業組合

産地を支えます！結城紬染色研究会



図1 染料選定用染色試験

【背景】

高級和装着尺である結城紬の染色には、光や水に対する染色の堅ろう性^{*}が求められます。

そのため、当所では、本場結城紬染色工業組合と協力し、産地の染色堅ろう度基準を満たす染料の選定や染料配合データベースの構築、染色標本作りに取り組み、産地の品質確保に長年注力してきました。

しかし、近年では選定した染料の廃番が続いており、代替となる染料の確保が業界の課題となっていました。

^{*}堅ろう性：染色の色落ちや変化に対する耐久性

【内容】

研究会では、廃番品に代わる新たな染料の探索と、染料配合データベースの基準色を補完するため、染料の配合試験に取り組みました。活動の内容は下記の通りです。

表1 活動内容

	内 容
第1回 (6月10日)	<ul style="list-style-type: none"> 染料、産地染色状況に関する意見交換 染料選定用染色試験
第2回 (11月18日)	<ul style="list-style-type: none"> 染色堅ろう度試験実施結果報告 染料配合値の検討（緑系） 配合染料染色試験
第3回 (12月16日)	<ul style="list-style-type: none"> 染色堅ろう度試験結果報告 代替染料染色試験（赤系）
第4回 (1月27日)	<ul style="list-style-type: none"> 配合染料染色試験 代替染料の染料配合の検討 結城の色検討



図2 染色堅ろう度評価



図3 染料配合試験系（緑系）

【活動の成果】

令和7年度は、産地の染色品質規格を満たす赤系統の代替染料2種を選定しました。

また、緑系統のデータベース基準色については、11種類の配合比率を検討し、染色傾向を把握するとともに、類似した染色が可能となる染料の配合値を見出しました。

なお、研究会の活動により得られた染色配合のデータは、結城紬産地における製品の染色加工に活用されており、結城紬の染色加工を支えています。

担当

繊維高分子研究所
繊維・紬グループ

小林 哲也、本庄 恵美、中野 睦子

TEL: 0296-33-4154